

P R T R 制度による届出排出量・移動量の経年変化の概要について

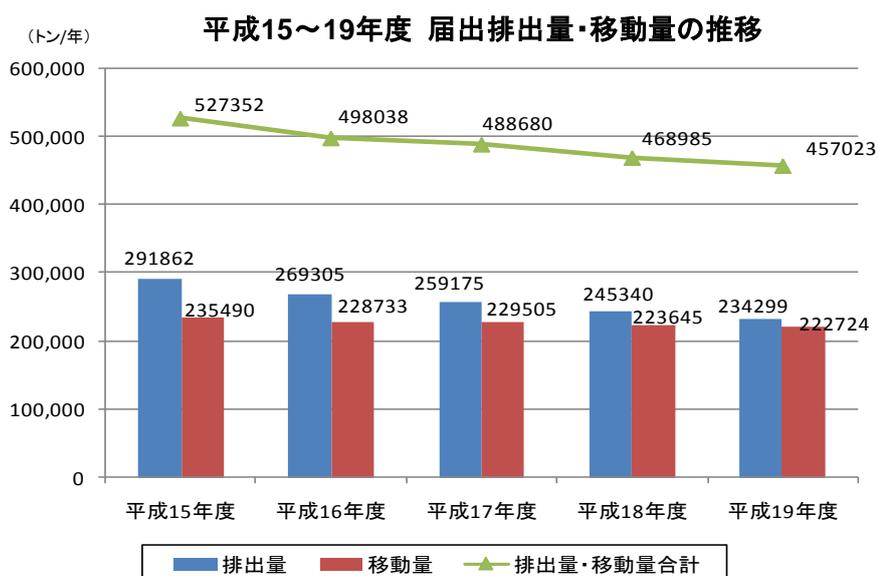
平成 21 年 12 月 3 日

○「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（化学物質排出把握管理促進法）が平成 11 年 7 月に公布され、P R T R 制度が導入された。本制度の導入により、相当広範な地域の環境において継続して存すると認められ、人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼすおそれのある化学物質（第一種指定化学物質）について、事業者は環境への「排出量」や廃棄物に含まれての「移動量」の届出を行い、国はその集計結果等を公表することとなっている。

○同法に基づく排出量・移動量の届出は平成 13 年度分から開始されているが、平成 15 年度から平成 19 年度までの P R T R 制度に基づく届出された排出量・移動量は以下のグラフのとおりであり^(※)、平成 19 年度に事業者から届出のあった総排出量は約 234 千トン、総移動量は約 223 千トン、その合計は約 457 千トンとなっている。

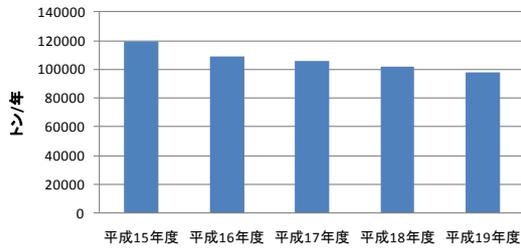
(※) 平成 13、14 年度届出分については、P R T R 対象事業者の要件が異なるため、グラフには含めていない。

○平成 19 年度の総届出排出量、移動量は、平成 15 年度と比較すると、それぞれ約 5 万 8 千トン（同比約 20%減少）、約 1 万 3 千トン（同比約 5%減少）減少しており、その合計は約 7 万トン（同比約 13%減少）減少している。

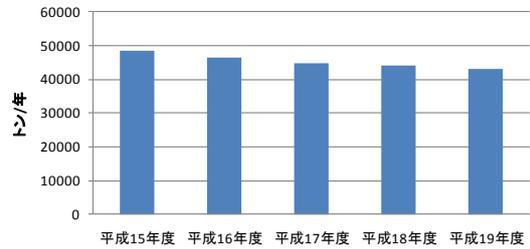


○平成19年度における届出排出量の上位10物質について、物質ごとの経年変化を示すと以下のとおりであり、減少傾向にある物質が多い。

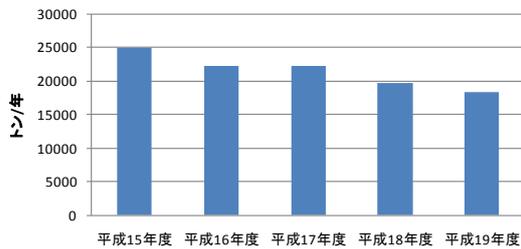
①トルエン



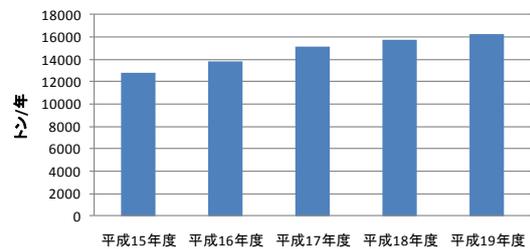
②キシレン



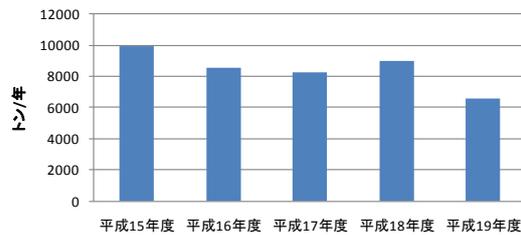
③ジクロロメタン(別名塩化メチレン)



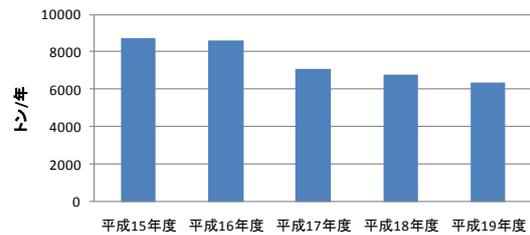
④エチルベンゼン



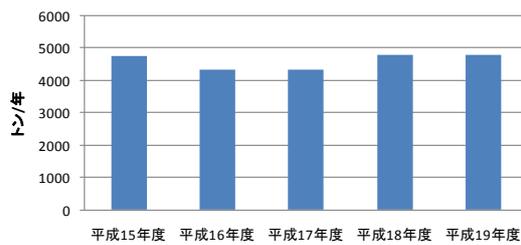
⑤鉛及びその化合物



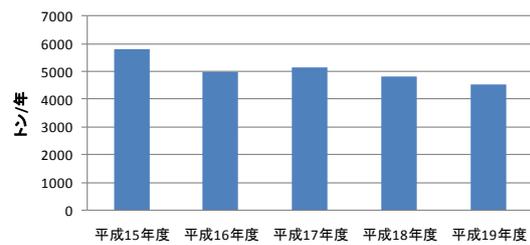
⑥マンガン及びその化合物



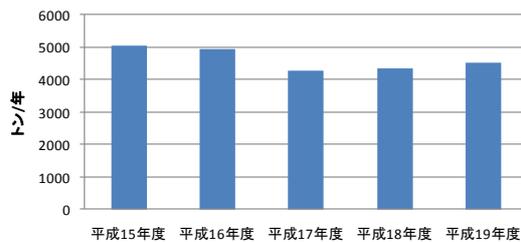
⑦N, N-ジメチルホルムアミド



⑧トリクロロエチレン



⑨二硫化炭素



⑩ほう素及びその化合物

